

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	東書（東京書籍）	<新しい社会> 301、401、501・502、601・602
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、前年度の既習事項を取り上げ(全学年)たり、小中の系統性を意識して、中学校社会科の学習内容(第6学年)が示されたりしている。また、巻末には、当該学年で学習したことを振り返る(全学年)ことができるなどの特色がある。 ○ 自然災害・防災については、地震発生時の市の取組、市と住民の取組、住民どうしの取組を取り上げ、自助・共助・公助について考え(第4学年)たり、自然災害における国や自治体の対策や事業などを理解(第5学年)したりできるようになっている。また、東日本大震災からの復旧・復興について理解(第6学年)できるようになっている。 ○ 第3・4学年は総ページ328ページ(前回より5%増)、第5学年は総ページ272ページ(前回より5%増)、第6学年は総ページ276ページ(前回より3%増)となっている。 	
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道・十勝については、「寒い土地の暮らし」の単元で、北海道の家や暮らしの工夫、雪対策と雪を生かした観光について取り上げられている。また、十勝地方の自然を生かした農業について学ぶ(第5学年)など使用上の特色がある。 ○ まとめや活動の工夫として、児童が主体的に取り組めるように、単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「まとめ」を教科書紙面に構造的に示し、問題解決的な学習の充実を図っている。また、教科書に記載した URL や2次元コードからアクセスすると、社会科学習への興味・関心を高めるコンテンツを家庭学習でも活用できるようにするなどの特色がある。 ○ 教科書の活用や造本上の特色として、地図帳を使う学習を進めるにあたり、地図帳の使い方や地図帳で確認する作業指示を入れている。また、持ち運びや学びやすさを考え、第5学年・第6学年の教科書はそれぞれ2冊になっているなど造本上の特色がある。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土は国土の構成や様子を学習する単元(第5学年)の中で本文・地図・写真を使って丁寧に扱われている。 ○ 国旗については、名称や意義について解説(第5学年)されている。また、アイヌの人々について、制定された法律やアイヌの文化(第5学年)等について、記載されている。 ○ 教科書のつくりとして、図表などは色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮されている。また、UDへの配慮として、教科書の一部にはユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、可読性を高めている。

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教出(教育出版)	<小学社会> 303、403、503、603
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の問題をつくり、見通しを立てる場面を丁寧に例示し、問題解決的な学習の進め方に対する理解を深めて自ら取り組むことができるようになることに重点をおいた編集内容になっている。 ○ 地域社会に関する内容については、地域に古くから伝わる生活の道具を調べたり体験したりする活動や、伝統的な文化の保存や継承に向けた人々の取組を調べるなどの活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもたせることで、目標を達成できるなどの特徴がある。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、我が国固有の領土の位置や現状について詳しく取り上げたり、国内の中小工場や工業生産の事例を幅広く取り上げたりするなどして、国土に対する愛情や人々が働く中で発揮される創造性についての関心を深めさせるなどの特徴がみられる。 ○ 我が国の歴史と政治、世界と日本の役割に関する内容については、文化財や文化遺産、先人の活躍を理解し、暮らしの改善や伝統的な文化の継承、持続可能な社会について児童なりに選択・判断し考える活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切にし、国際社会の中で他国の人々と協力しながら問題を解決することを考えることで、目標を達成できるような特徴がみられる。 ○ 子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設けるなど、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進められるように工夫されている。また、社会科と他教科との連携を図りながら学習を進めていくことをイメージするコーナーを設け、カリキュラムマネジメントに基づいた学習への活用を図ることができるように工夫されているなどの特徴がある。 	
内容の構成・ 排列・ 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の分量については、第3・4学年では総ページ数386ページ(第3学年172ページ、第4学年214ページ)で前回より31パーセント増に、第5学年では総ページ数が252ページで前回より9パーセント増に、第6学年では総ページ数が276ページで前回より21パーセント増となっている。 ○ 第5学年において、東日本大震災などこれまでの災害を例に災害とどのように向き合っていけば良いか、主体的に考えることができるように工夫されている。また、第4学年では、地震災害・津波災害、風水害、火山災害、雪害、第6学年では、自然災害から命や暮らしを守る学習を選択できるようにするなどの特徴がある。 	
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年において、東日本大震災などこれまでの災害を例に災害とどのように向き合っていけば良いか、主体的に考えることができるように工夫されている。また、第4学年では、地震災害・津波災害、風水害、火山災害、雪害、第6学年では、自然災害から命や暮らしを守る学習を選択できるなどの特徴がある。 ○ 学習をまとめる場面において、身近な地域の様子について、市内の特色ある地域をポスターにまとめて紹介する活動を設定したり(第3学年)、これからの我が国の産業について、生産者だけでなく、消費者の立場でも考えさせる活動を設定したり(第5学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるなどの特徴がある。 ○ ワイドで精緻な数々のイラストを掲載したり、資料を読み取る児童の発言例や複数の資料の比較・関連付けを明示したりするなど、社会的な見方・考え方を使った学習を効果的に促すような工夫が図られている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流に取り組んでいる地域の学習において国旗を取り上げたり(第4学年)、日章旗及び周辺国の国旗を取り上げたり(第5学年)、複数の資料を用いながら国旗を取り上げたり(第6学年)するなど、国旗を大切にする態度や他国を尊重する態度を養う工夫がなされている。また、アイヌの人たちの伝統や文化を尊重することの大切さに気付かせるために、アイヌ語がもとになった地名について取り上げる(第5学年)などの特徴がある。 	

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 社 会

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	日文（日本文教出版）	<小学社会> 304、404、504、604
内容の構成・ 排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成は、文章表現がやさしく、用語の解説に「キーワード」を配置し、児童の理解を助ける工夫がされている。目次には、大単元の学習内容に加え、選択事例が明示されており、登場する子どもを通して、友達の意見を参考に学習活動が展開できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量については、第3、4学年が総ページ数354ページで前回より10%増、第5学年が総ページ数280ページで前回より20%増、第6学年が総ページ数270ページで前回とほぼ同様となっている。 ○ 自然災害や防災についての取り扱いは、学年に応じて、地形や気候との関わり、災害復興に向けた取組や国、県、市の役割などが記載されている。第4学年では、風水害、地震・津波・火山・雪害災害、第5学年では、自然災害から身を守る工夫、第6学年では、自然災害からの復旧・復興、まちづくりについての学習を選択できるよう工夫されている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年「寒い土地の暮らし」では、旭川市の位置や気候の特徴と農業・観光業との関わりが取り上げられ、身近な地域について学習できるよう工夫されている。 ○ 巻頭にオリエンテーションページを設け、社会科の意義と学び方などがわかりやすく示されている。また、第3学年においては、生活科との関連も意識されている。 ○ 子どもたちが社会的事象の見方・考え方を働かせる手立てとなる「見方・考え方コーナー」が新設されている。 ○ 学び方のガイダンスとして、巻頭に「教科書の中のいろいろなコーナー」として教科書活用方法を掲載したり、年表や大型で見やすい写真を折り込みページに掲載したりするなどの工夫が見られる 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土、アイヌ民族については、歴史的経緯などに触れ、地図や写真、関連する法律が記載されるなど適切に取り扱えるよう工夫されている。（第6学年） ○ 国際交流に取り組む地域の学習において国旗を取り上げたり（第4学年）、国旗・国歌の由来や意義について取り上げたり（第6学年）するなど、各学年とも国旗を尊重し他国を尊重する態度の育成が図られるように工夫されている。 ○ すべての子どもたちに見やすいように、グラフ・地図の色調や色の組み合わせ、斜線、ドットなどを使用するなどカラーユニバーサルデザインなどを工夫している。 	